

令和元年7月25日

国土交通省住宅局住宅生産課長 殿

一般社団法人木を活かす建築推進協議会
代表理事 大橋 好光

平成31年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）第1回応募概要の
評価結果について

平成31年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）における第1回応募の
状況及び「サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）評価委員会」において出さ
れた全体講評は下記のとおりです。

記

1. 応募状況

本事業において、公募（平成31年4月15日から5月27日）を行ったところ、一般建
築物15件、木造実験棟2件、合計17件の応募があった。

2. 評価の経緯

評価は、一般社団法人木を活かす建築推進協議会に設置した、学識経験者からなる
「サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）評価委員会」（以下「評価委員会」
という。）において、以下の手順で実施した。

まず、応募のあった各提案の内容について、要件への適合、構造・防火面における
技術の先導性、建築生産システムについての先導性、一般への普及・啓発効果等の観
点から、書類審査を行った。

その結果、内容について詳細な追加情報が必要とされた提案については、さらに当
該提案者に対するヒアリング審査を行い、本事業による支援対象として適切と思われ
る提案を選定した。

3. 評価結果

上記の評価により、評価委員会が本事業による支援対象として適切と判断した一般
建築物6件、木造実験棟1件、合計7件のプロジェクトは、別紙1及び別紙2のとおり
である。

（参考）平成31年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）評価委員会／委員名簿

委員長	大橋 好光	東京都市大学／工学部建築学科教授
委員	五十田 博	京都大学／生存圏研究所教授
委員	伊藤 雅人	三井住友信託銀行(株)/不動産コンサルティング部審議役
委員	腰原 幹雄	東京大学／生産技術研究所教授
委員	長谷見雄二	早稲田大学／理工学術院教授
委員	萩原 一郎	東京理科大学/国際火災科学研究科教授
委員	林 知行	秋田県立大学／木材高度加工研究所教授

（敬称略。委員については、50音順）

「木造先導プロジェクト 2019」採択プロジェクト(第1回) 一覧

No.	プロジェクト名称			講評
	提案者			
	建設地	用途		
	延べ面積	階数	補助限度額	

一般建築物

1	大崎市鳴子総合支所庁舎等複合施設建設事業			<p>宮城県大崎市による、行政機能に公民館を併せ持つ複合施設を建設するプロジェクト。2層通しのCLTパネルによる外壁面と集成材による軸組構法を組み合わせてつ、口準耐として内部架構の簡易化や現しでの利用を可能とした木造建築である。</p> <p>宮城県内で製造可能な小幅CLT(1200mm幅)を鋼板添え板ドリフトピン接合工法により大型パネル化し、中規模建築物に用いており、CLTの活用方法のひとつとしてのモデル事業である。</p> <p>林業、建設業関係者だけでなく、一般の方も対象とした学習の場を設けることが計画されており、地域材利用やCLT施工技術についての普及・啓発が期待できる。</p>
	宮城県大崎市			
	宮城県大崎市	庁舎、公民館		
	1,745 m ²	地上2階	82,422 千円	
2	中央大学多摩キャンパス学部共通棟新築工事			<p>大学構内に6階建ての学部共通棟を新築するプロジェクトで、鉄骨造に円形断面や角型の耐火集成材やCLTを使用した、混構造の計画である。</p> <p>円形断面の耐火集成材を吹き抜け空間に配置するとともに、CLT耐震壁の一部を現し仕上げにするなど、構造材として積極的に木質材料を使いつつ、木を見せるための工夫が図られている。</p> <p>様々な学部の学生が集まる大学施設において地元産の多摩産材等の木材を用いて積極的な木造化を図っており、先導的な技術やそれを用いた木質材料の普及・啓発が期待できる。</p>
	学校法人中央大学			
	東京都八王子市	学校		
	14,500 m ²	地上6階	15,803 千円	
3	玉川学園 学生寮 建設工事			<p>9階建て学生寮を木造軸組構法と免震構造により建設する計画であり、これまでの木造建築の階数を大きく上回る規模のプロジェクト。</p> <p>1～9階の構造材(柱、梁、ブレース)は140EのLVLを用いた純木造とし、K型ブレースを用いたブレース構造の採用、配置効率の良いドリフトピン接合の開発、9階建て木造建築物として初の基礎免震構造等多くの先導的な技術を採用している。</p> <p>構造体見学会、竣工見学会の開催が計画され、建築関係者のみならず一般にも周知を図っており、上記設計・施工・木材調達における先進技術の普及・啓発が期待できる。</p>
	学校法人玉川学園			
	東京都町田市	寄宿舎		
	6,147 m ²	地上9階	300,000 千円	
				
				
				

4	(仮称)OYプロジェクト計画			<p>10階建て自社研修施設を木造軸組構法と免震構造により建設する計画であり、これまでの木造建築の階数を大きく上回る規模のプロジェクト。建設地は神奈川県横浜市であり、都市部における中高層耐火純木造建築のモデルになることが期待される。</p> <p>柱梁接合部には、支圧接合とGIR工法を組み合わせで開発した「十字型剛接合プレファブユニット」を採用。剛性の高い接合部により、高層化を実現している。狭小地にも適用可能な変形制御型免震構造を採用し地震力を低減させている。一部には、更なる安全性向上のため3時間耐火仕様柱/梁を採用している。</p> <p>都心部での施工にあたり、産地-加工-現場ルートの最適化や、ユニット施工/現場接合の簡易化が検討されている。</p> <p>竣工時の見学会の他、1～3階を一般に公開し、本プロジェクトの技術等を紹介する計画となっており、広く普及・啓発が期待できる。</p>
	株式会社大林組			
	神奈川県横浜市	研修所		
	3,497 m ²	地上10階	300,000 千円	
				
5	京丹波町新庁舎整備事業			<p>地域産材を活用して、まちづくりとまちの防災の拠点となる新庁舎を建設するプロジェクト。</p> <p>大スパンを含む木造庁舎を実現しながら、木材の伐採から製材加工まで、地元業者が多くの工程で関与できるようにするため、2本の平角製材をビスで斜め留めし一体化する「組立柱」や「合わせ梁」が採用されている。</p> <p>自主的にスプリンクラーを設置するとともに、燃えしる設計とし、木材を見せながら防耐火性能の高い公共木造建築を実現している。</p> <p>大部分の柱や梁を現しとし、内外装材にも町内産木材を使用することで、京丹波の森のポテンシャルを展示するショールームとした、木の良さを広くアピールする計画であり、先導的な設計・施工技術の他、地域材の活用についても広く普及・啓発が期待できる。</p>
	京都府京丹波町			
	京都府京丹波町	庁舎		
	4,906 m ²	地上2階	153,668 千円	
				
6	旧岡山市立福谷小学校改修計画			<p>校舎を事務所及び工場(育苗施設)に用途変更する、コンバージョンのプロジェクト。</p> <p>鉄筋コンクリート造3階建ての既存建物について、事務所及び育苗施設として必要な広い空間を確保するために既存のRC耐震壁を撤去する一方で、RC床をCLTスラブに置き換えて建物の軽量化を図ると同時に、一部の既存RC壁にCLT耐力壁で耐震補強を行うことで、必要な耐震性能を確保する計画である。</p> <p>CLTの製造に際しては、地域材及び近隣の生産工場を利用してCLTの調達費用を抑え、また床版用のCLT材を長さ4000mmに規格化して歩止まりを向上させるとともに、あわせて加工・施工における手間を簡略化するなど施工性にも配慮した計画となっている。</p> <p>未活用の廃校の活用のための新たな手法の1つとして、広く普及・啓発が期待できる。</p>
	農業法人株式会社D&Tファーム			
	岡山県岡山市	事務所、育苗施設		
	2,450 m ²	地上3階	25,337 千円	
				

木造実験棟

1	CLT 遮音実験棟 新築工事		
	一般社団法人日本 CLT 協会		
	大阪府吹田市	実験棟	
	80 m ²	地上2階	30,000 千円
			<p>集合住宅等で求められる居空間遮音性能を、CLT パネル工法の建築物において確保するための技術開発・検証を行うプロジェクト。</p> <p>国内に少ないCLT建築物の遮音性能を検証するための実験棟であり、2階床より上の部分をリフトアップして2階床躯体を変更可能とすることで、複数種類の床躯体の遮音対策手法を開発するための実験環境を整備するものである。</p> <p>実験は、まず音響・振動測定によりCLT床躯体の素面での性能を把握し、測定により床躯体への対策手法を確立するとともに、あわせて床版または直下の天井を設置した場合等の仕上げ材などについても低減性能を確認し、有効な仕様を開発する計画となっている。</p> <p>(一社)日本CLT協会内に設置される運営委員会によって 実施される当プロジェクトの実験・検証結果は、一般に公表されることで広く活用に供され、木造建築技術の普及啓発に資するものと期待できる。</p>